

事務事業名		29300	交通安全施設維持補修事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	建設課	担当班	土木班
施策体系	基本施策	31	交通安全対策の強化	根拠法令	一般	8	2	2				
	施策の展開	61	交通安全環境の整備	戦略事業	266	交通安全施設維持補修事業						
	施策の展開			戦略事業								
事業種別 <input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業												

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。 ・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等 ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検点検を行った箇所への対応が中心になっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。	自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。	市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円		単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.維持補修費	562	千円	450	242	769	562	550
2.工事請負費	12,317	千円	7,911	13,882	7,811	12,317	23,425
3.原材料費	281	千円	898	2,303	215	281	1,000
4.委託料	7,617	千円	5,973	5,365	7,716	7,617	5,500
5.負担金補助及び交付金	1,686	千円	918	0	0	1,686	0
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)					
1.国庫支出金	0	千円	16,150	21,792	16,511	22,463	30,475
2.都道府県支出金	0	千円					
3.地方債	0	千円					8,300
4.その他	1,700	千円	637			1,700	
		5.一般財源	15,513	21,792	16,511	20,763	22,175

前年度増減理由	交通安全施設の補修要望が多く工事費が増加したため。
---------	---------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 3 人 × 30 日 = 延べ 90 人

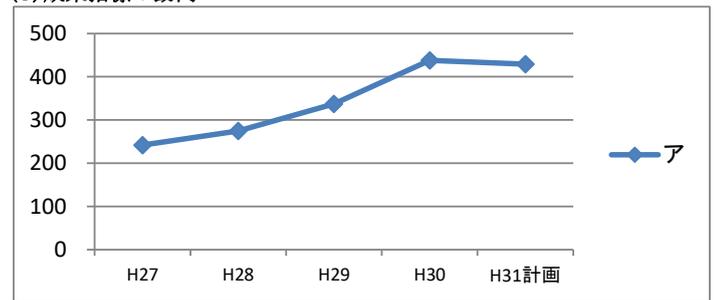
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 防護柵新設・更新延長	m	3	249	215	120	300
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	1	19	33	53	26
	対象意図 市道及び利用者(市民) 安全性が向上する。安心して通行できる。	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象意図		ア 危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	箇所	242	275	337	438	429

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
		①	
		②	
		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	(11)
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向	27年度	28年度	29年度	30年度	31計画
					ア	39	33	62	101	△9	
					イ						
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()						
(31年度に取り組み主な事項について記載)	令和元年度	長寿命化修繕計画の実施 交通安全施設の設置・維持管理 通学路の危険箇所への対応		長寿命化修繕計画も含め、老朽化した交通安全施設の改修を着実に実施し、年々増加する要望に適切に対応していく。							